

試行・思考を重ね、至高の作品へ ～校内造形週間に思う～

図画工作科主任 和田 幹

図画工作科の時間、子どもが「先生、見て！」と私にうれしそうに話しかけてくることがあります。その中には、思いがけない大発見もあります。この言葉に至るまでに、子どもは試したり、考えたりすることを繰り返しています。例えば、材料や用具と関わる中で様々な色や形、表現方法に出会ったり、生活経験やお話などから想像力を働かせ、思いを膨らませたりしています。「先生、見て！」という言葉は、その子にとっての意味や価値をつくりだされている姿であるといえます。学年が上がるにつれてこの言葉を聞くことは減りますが、つくる手の動きや作品カードに書かれた言葉から、作品に込められた思いや意味、価値を感じることが出来ます。

図画工作科は、意味や価値をつくりだすと同時に自分自身をつくりだす教科として重要な役割を担っています。今年も9月2日（火）から校内造形週間が始まります。岡田っ子が試み、考えを重ねた「先生、見て！」の言葉とともに、一人一人の至高の作品が見られるのを楽しみにしています。

ちがいのちがい

人権・同和教育主任 二宮 裕美

多様性を認める、個性を大切にと言われますが、みんなと同じであることに安心したり、自分だけちがっていることに不安になったりすることもあります。前任校で「ちがいのちがい」という授業を行いました。様々な違いを書いたカードを「あってもいいちがい」「あつたらいけないちがい」「どちらともいえない」に分類して、分けた理由を話し合い、違いについて考えました。

- (例)
- ・ Aさんはハンバーグが好きだが、Bさんは焼き肉が好き。
 - ・ 食事のとき日本では箸を使うが、インドでは指を使う。
 - ・ Mさんは一人で旅行できるが、車椅子に乗っているHさんは一人で電車に乗ることができない。
 - ・ O先生の言うことは聞かぬが、P先生の言うことは聞かない。
 - ・ Sさんはスマホを持っているが、Uさんは持っていない。

みなさんは、どのように分類されましたか？子どもたちが、自分との「ちがい」を認め合う態度や差別につながってしまう「ちがい」は認めない態度を身に付けることができるように、共に考えていきたいと思っています。

やり切った！水泳練習

練習初日、25mも泳げず、3日間練習を続けて25mを27秒で泳げるようになりました。本番当日、「パンツ」という音で飛び出し、ゴールでかべにタッチしました。タイムは19.5秒で全体の1位でした。跳び上がりそうなくらいうれしかったです。6年	ぼくは25m自由形に出場しました。練習では20秒前半でしたが、本番で19秒が出て、3位になり、うれしかったです。水泳を習っていないけれど、よい記録が出せてよかったです。他の小学校の人たちも速く、すごかったです。水泳が好きになりました。6年	本番は少し緊張したけど、楽しもうという気持ちの方が大きかったです。結果は、練習と同じタイムだったけれどむしろ練習通りできたことにホッとしました。精神を鍛え、仲間とのきずなを深められました。6年
50m自由形と200mリレーに出場しました。50m自由形は、水泳の得意な人や速い人がいましたが、1位を取れてよかったです。200mリレーは仲間とともに優勝できてよかったです。大変な練習があったけれど、乗り越えられてよかったです。6年	今年の水泳練習の1ヶ月はあっという間でした。150mメドレーリレーは2位に終わったけれど、一緒にチームがつないでくれたおかげだと思いました。リレーに出られたことがすごくうれしかったです。6年	私はこの1ヶ月間1度も練習を休まず参加しました。最初は泳げなかったけれど、どんどん泳げるようになって記録を計るのが楽しくなりました。1ヶ月間本気で取り組めてよかったです。6年
兄も姉も大会新記録を出していたので、新記録賞を取りたいと思っていました。練習中はスピードを上げて泳ぐなどしてがんばりました。本番では、とても緊張しましたが、新記録賞が取れて、みんながほめてくれて、とてもうれしかったです。6年	放課後の水泳練習をして、前よりも上手に泳げるようになりました。練習ではばた足をしたり、手のかき方を先生に教えてもらったりして、タイムが速くなりました。本番はとても緊張していたけれど、練習より速くなっていてうれしかったです。6年	練習の間タイムが上がらず、くじけそうになっても、疲れても練習をがんばり続けました。すると本番では、8秒も自己ベストを更新しました。本番に力を出せたことで自信がつかしました。6年